

## 報告事項 1.

### 平成25年度 事業報告

#### 【公益目的事業】

#### 1. 調査・研究事業の推進

##### 1-1 調査・研究

石油及び周辺エネルギーに関する科学技術の一層の発展，石油・エネルギーの安定供給及び地球環境の保全を図るため，部会活動を中心に調査・研究を行った。

##### 1-1-1 部会活動

##### (1) 製品部会

- 1) 燃料油分科会で第19回CFRオクタン価照合試験を行った。
- 2) アスファルト分科会で舗装用アスファルトの品質基準の検討を行った。
- 3) 絶縁油分科会で以下の活動を行った。
  - a) 絶縁油関連の文献を調査し，最新情報の共有化を図った。
  - b) 各種エステル系絶縁油の実用性能に関して調査を行った。
  - c) 新しい硫化腐食の実態調査を行った。
  - d) 平成26年1月10日(金)に(一財)北海道電気保安協会にて，寒冷地における変電設備の保守点検の見学及び情報交換会を実施した。
- 4) 試験分析分科会で以下の活動を行った。
  - a) 新しい動粘度測定方法に関するアンケート調査を実施した。
  - b) 灯油中のDTBP分の分析法の検討を行った。
  - c) 標準試料委員会からの依頼を受け，放射線式励起法による軽油の硫黄分の分析法の検討を行った。
  - d) 石油製品中の金属分試験方法の検討を行った。
  - e) 平成26年1月17日(金)に京都電子工業(株)にて，最新の動粘度計の勉強会及び施設見学会を実施した。

##### (2) 装置部会・装置委員会

- 1) 回転機分科会では，回転機の再生補修技術について調査を実施し，「回転機の再生補修技術事例集」作成し頒布した。
- 2) 配管分科会では，石油学会としてJPI-7S-65-2011「フランジ及びバルブのPTレーティング」と高圧ガス認定弁規程の規制緩和要望案を石油連盟に提出した。
- 3) 設備保全分科会では，以下の情報交換会を実施した。
  - \*他学協会の動向調査（最近発行された国内外の主な維持管理規格）
  - \*設備管理技術の発表（「小型無人ヘリコプター撮影による配管CUIの外観検査の試み」「光ファイバーセンサーのプラント施設への適用事例」）
  - \*芳香族製造装置 E-2923（ベンゼンスプリッターボイラ）チューブのエロージョン減肉
  - \*C-H 101（第二原油加熱炉）事例紹介
  - \*CDUナフサスプリッター配管バンド折損
  - \*TOPフラクショネーター原油入口ノズルの減肉事例
  - \*製油所におけるトラブル事例（5件）
- 4) 計装分科会では，石油会社各社に「プラントアセットマネジメント活用の現状と課題」に関しアンケート調査を実施し，結果を第30回計装研究討論会で報告した。
- 5) 電気分科会では，平成25年7月10日(水)に「信頼性向上につなげる保全業務・トラブル対応」等

に関する勉強会を、平成25年10月24日(木)、25日(金)に造船、自動車及び造幣関連の電気設備の施設研修会を行った。WG1では、「自家用電力システム計画ノウハウ集」作成のための調査を実施し、電気研究討論会で成果を報告した。WG2では、電気維持規格関連フォローアップ、トラブル事例収集及びその他調査研究を実施した。

6) 保安分科会では、石油業界における環境、安全に関する課題について検討した。

(3) 経営情報部会

- 1) 下記、WGを設置し、調査・検討を行った。  
「石油・石油化学産業におけるビッグデータの活用方法の調査・研究」
- 2) 平成24年度に設置したWGの活動成果をそれぞれ取りまとめた。
  - a) 「20年後の日本のエネルギー需給構造～シナリオプランニングによる未来予想図～」は「どうなるクルマの未来と燃料（シナリオ・プランニング）」として平成25年11月に報告書を発行し、関係者及び希望者に配布した。
  - b) 「石油・石油化学産業における情報系・制御系システムのセキュリティーに関する調査・研究」は「石油精製・石油化学産業に特化した制御系セキュリティーのガイドライン」として平成26年5月に報告書を発行し、関係者及び希望者に配布した。
- 3) 平成25年5月28日(火)、29日(水)開催の第56回年会において、「どうなるクルマの未来と燃料（シナリオ・プランニング）」と題する講演を企画、実施した。

#### (4) 新エネルギー部会

次世代バイオ燃料油分科会では、次世代バイオ燃料の国内動向について調査を実施した。

### 1-1-2 受託, 参加事業

- (1) (一財)石油エネルギー技術センターが実施する重質油等高度対応処理技術開発事業のうち、「新規要素技術の調査」を受託し、実施した。
- (2) (一財)国際石油交流センターが実施する「産油国等石油精製・利用技術国際共同研究事業」のうち、①産油国研究者の受入事業、②産油国連携合同セミナー事業に参加し、調査・研究を実施した。

## 1-2 成果公開・普及

前述の部会、委員会活動や受託事業で得られた調査・研究の成果並びに創立以来蓄積された石油及び周辺エネルギーに関する知見を様々な形で広く公開した。石油及びエネルギーに関する情報の普及に努めることで、国民がこの分野に関心を持ち、石油資源の現状とその有効利用に対する理解を深めること、本分野の研究者・技術者のすそ野が拡大することを目指した。

### 1-2-1 会誌（一般誌）

- (1) 会誌（「ペトロテック」月刊）を発行し、会員に配布したほか、一部外部に頒布した。  
1) 各月の主な内容は次表のとおりである。

[illegible]

|             |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |
|-------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 辛口放談        | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 12  |
| 英語酒飲み話 2    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2   |
| ふるさと自慢      | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 12  |
| 趣味談議        | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 12  |
| JPIJSだより    | 1  | 1  | 0  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 11  |
| 今月の一口メモ     | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 48  |
| エネルギー知ってるはず | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 0  | 1  | 1  | 0  | 1  | 1  | 10  |
| 新技術紹介       | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2   |
| 新刊紹介・書評     | 0  | 1  | 1  | 0  | 1  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 4   |
| ペトロぷらざ      | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 3   |
| 統計          | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 12  |
| 全頁数         | 82 | 80 | 84 | 78 | 82 | 78 | 76 | 80 | 77 | 76 | 78 | 76 | 947 |

2) 上記以外の特集記事を以下のとおり掲載した。

- \*平成25年6月号「難燃材料・難燃剤の最新動向 (1)」
- \*平成25年7月号「難燃材料・難燃剤の最新動向 (2)」
- \*平成25年11月号「期待される次世代の二次電池」(小特集)
- \*平成26年2月号「先端セラミックス (1)」
- \*平成26年3月号「先端セラミックス (2)」

3) その他毎月、国内・海外の最近のニュース、解説記事、学会活動を報告する「学会の窓」を掲載した。また、弔辞、トピックス、論文誌掲載論文要旨などを適宜掲載した。

#### 1-2-2 広報

- (1) 講演会、研究発表会等の学会活動を報道各社に紹介した。
- (2) ホームページコンテンツの一層の充実を図るとともに、学会行事や学会活動の成果を随時ホームページにて紹介した。
- (3) 会員を始めとするWeb閲覧者のサービス向上の一環として「ペトロテック」の過去掲載記事を検索・閲覧するサービスを平成25年5月に開始した。

#### 1-2-3 講演会等（移動大学、支部講演会、JPIJS講演会、部会講演会）

- (1) 多くの方々に石油に関する理解や興味を深めてもらうため、大学生（院生を含む）や一般市民を対象として、移動大学「石油関連セミナー」を石油連盟の支援のもとに実施した。平成25年度は23大学・機関において講義数69コマを、また、さいたま市では市民講座を実施した。本年度の聴講延べ人数は約4,126人であった。開始した平成9年度からの累計は総コマ数957コマ、聴講延べ人数約79,800人に達している。

(2) 支部講演会等

[北海道支部]

- 1) 平成25年7月20日(土)に学協会北海道支部合同夏季研究発表会を共催した（北見市）。
- 2) 平成25年10月31日(木)に第6回実践的石油学講習を企画し、実施した（室蘭市）。
- 3) 平成25年11月19日(火)に触媒学会北海道支部札幌講演会を共催した（札幌市）。
- 4) 平成26年1月28日(火)、29日(水)に化学系学協会北海道支部合同冬季研究発表会を共催した（札幌市）。

[東北支部]

平成26年3月8日(土)に、シンポジウム「あらゆる面から真剣にエネルギーについて考える会」～脱原発の行方と復興住宅に備えるべきエネルギー設備～を企画し、実施した（仙台市）。

[東海支部]

- 1) 平成25年8月下旬に、東海地区の石油精製会社及び石油化学会社の4製油所・事業所にて東海地

区大学院生を対象に行われたインターンシップ事業に協力した。東海地区の6大学から8名の学生が参加した。また、平成25年9月12日(木)にインターンシップ研修報告会を企画し、実施した(名古屋市)。

- 2) 平成25年9月12日(木)に第2回東海支部講演会を企画し、実施した(名古屋市)。
- 3) 平成25年9月24日(火)、25日(水)に信州大学にてProⅡ集中講義の企画、実施に協力した。

[関西支部]

- 1) 平成25年6月5日(水)に東燃ゼネラル石油(株)堺工場にて企業見学会を実施した。
- 2) 平成25年9月13日(金)に大阪国際石油精製(株)大阪製油所にて第21回学生企業見学会を実施した。
- 3) 平成25年10月18日(金)に第20回関西支部セミナーを日本エネルギー学会関西支部と共催した(吹田市)。
- 4) 平成25年12月6日(金)に第22回関西支部研究発表会を日本エネルギー学会関西支部と共催した(東大阪市)。

[中国・四国支部]

- 1) 平成25年11月25日(月)に第32回中国・四国支部講演会を企画し、実施した(山口県玖珂郡)。
- 2) 平成26年1月17日(金)に第18回中国・四国支部技術交流会を企画し、実施した(山陽小野田市)。
- 3) 平成25年8月に中国・四国地区の3製油所・事業所にて学部・大学院生を対象に行われたインターンシップ事業に協力した。中国・四国地区の3大学から7名の学生が参加した。

[九州・沖縄支部]

- 1) 平成25年11月14日(木)～16日(土)に開催された北九州大会(第43回石油・石油化学討論会)では実行委員会を組織し、準備・運営に協力した。
- 2) 平成25年10月25日(金)に第27回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施した(北九州市)。
- 3) 平成25年12月10日(火)に第28回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施した(熊本市)。

(3) JPIJS講演会

- 1) 平成25年5月29日(水)に開催の第62回研究発表会に併せて、第18回若手研究者のためのポスターセッションを開催した。40件の発表があり、最優秀ポスター賞を1件、優秀ポスター賞を2件選定し、表彰した。
- 2) 平成25年11月14日(木)、15日(金)に開催の北九州大会(第43回石油・石油化学討論会)において、下記2件の依頼講演を企画した。  
「企業研究者に求められるもの」(JX日鉱日石エネルギー 永易 圭行 氏)  
「企業における研究者の在り方」(出光興産 梶谷 智史 氏)
- 3) ペトロテック各号に「JPIJSだより」として行事報告等を掲載した。
- 4) その他、全国においての活動は次のとおりである。

[北海道・東北地区]

- a) 平成25年7月21日(日)、22日(月)に第53回オーロラセミナーを触媒学会と共催した(北海道上川郡)。
- b) 平成26年2月28日(金)に北海道・東北地区講演会を開催した(仙台市)。

[関東地区]

- a) 平成25年9月25日(水)に精製部会プロセス分科会協力のもと、JPIJS関東地区討論会「石油業界の役割と若手エンジニアの未来像」を開催した(目黒区)。

[関西地区]

- a) 平成25年7月5日(金)に精製部会プロセス分科会協力のもと、JPIJS関西地区討論会「石油業界の役割と若手エンジニアの未来像」を開催した(京都市)。
- b) 平成25年7月26日(金)、27日(土)にコロキウム2013を日本エネルギー学会関西支部、石油学会関西支部と共催した(芦屋市)。また、ライオン(株)明石工場、(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所にて見学会を実施した。

## [九州地区]

- a) 平成25年7月26日(金), 27日(土)に第24回若手ケミカルエンジニア討論会を化学工学会九州支部と共催した(別府市)。
- b) 平成25年10月23日(水)に九州・沖縄地区講演会を石油学会九州・沖縄支部と共催した(大分市)。

## (4) 部会講演会

## [資源部会]

- 1) 平成25年7月3日(水)に資源講演会「ピークオイル(説)を超えて」を企画し, 実施した。
- 2) 平成25年11月14日(木), 15日(金)に開催の北九州大会(第43回石油・石油化学討論会)において「石油・天然ガス開発」のセッションを企画し, 協力した。

## [精製部会]

- 1) 平成25年7月5日(金)に開催したJPIJS関西地区討論会の実施に協力した。
- 2) 平成25年9月25日(水)に開催したJPIJS関東地区討論会の実施に協力した。
- 3) 平成25年10月24日(木)に精製講演会「変貌するエネルギーと石油産業における技術的対応」を企画し, 実施した。
- 4) 平成26年2月21日(金)に第39回精製パネル討論会を企画し, 実施した。
- 5) 第38回精製パネル討論会会議録〔平成25年1月18日(金)開催〕を平成25年5月に発行した。

## [石油化学部会]

- 1) 平成25年11月14日(木), 15日(金)に開催の北九州大会(第43回石油・石油化学討論会)において「脱硫・脱窒素」「石油化学」「水素化・脱水素」「酸化」「ポリマー・オリゴマー」「ファイナケミカルズ」「C1化学」「バイオケミストリー」「キャラクターゼーション」「機能性材料」「環境触媒」「グリーンプロセス」のセッションを企画し, 協力した。
- 2) 平成25年11月26日(火)に第21回触媒シンポジウム「シェールガス革命による石油化学産業の最新動向」を企画し, 実施した。

## [製品部会]

- 1) 平成25年12月6日(金)に2013石油製品討論会「石油を取り巻く最新動向と製品技術・分析評価技術の進展」を企画し, 実施した。
- 2) 絶縁油分科会では, 平成25年6月7日(金)に第33回絶縁油分科会研究発表会を企画し, 実施した。
- 3) 絶縁油分科会では, 平成25年10月18日(金)に第3回絶縁油分科会後継者育成講習会を企画し, 実施した。

## [装置部会-装置委員会]

- 1) 平成25年12月9日(月), 10日(火)に第44回装置研究討論会「設備の信頼性向上と高経年化対応」を企画し, 実施した。
- 2) 平成25年11月14日(木), 15日(金)に開催の北九州大会(第43回石油・石油化学討論会)において「石油精製(設備保全)」のセッションを企画し, 協力した。
- 3) 回転機分科会では, 「初級者向け教育講座」を企画し, 平成25年6月, 11月及び26年2月に実習付教育講座を開催した。
- 4) 回転機分科会では, 平成25年10月11日(金)に第13回 回転機研究討論会を企画し, 実施した。
- 5) 電気分科会では, 平成26年3月6日(木)に第14回電気研究討論会「事業継続計画(BCP)と災害対策～電気技術者のBCPとは～」を企画し, 実施した。
- 6) 計装分科会では, 平成26年3月10日(月)に第30回計装研究討論会を企画し, 実施した。また, 若手技術者を対象とした若手会・勉強会を2回開催した。第1回は平成25年11月15日(金)に「制御システムにおけるサイバー攻撃の現状」について, 第2回は平成26年2月28日(金)に「ファンデーションフィールドバスの最新状況とF-ROM」をテーマに行った。

#### 1-2-4 規格の制定・普及

##### [製品部会]

次の規格の改訂を実施した。

- \* 5R-5-93 [リサーチ法及びモータ法オクタン価測定マニュアル] 平成25年12月20日に改訂。
- \* 5R-39-93 [セタン価測定マニュアル] 平成25年12月20日に改訂。

##### [装置部会]

##### (1) 装置委員会

1) 機器分科会関係の規格類の改訂，見直しを実施した。

- \* 7B-88-00 [機器フランジ漏れ防止対策資料] 見直し。
- \* 7R-28-97 [塔そう類温度圧力基準] 見直し。
- \* 7R-51-91 [空冷式熱交換器の構造] 見直し。
- \* 7R-52-96 [横置容器サドル周り強度計算] 見直し。
- \* 7S-29-97 [塔そう類腐れ代基準] 平成25年10月21日に改訂。
- \* 7S-35-04 [スカートを有する塔そう類の強度計算] 平成25年4月10日に改訂。
- \* 7S-44-73 [石油工業用熱交換器フランジ] 見直し。

2) 配管基準専門委員会 (3WG)，バルブ専門委員会 (3WG)，フランジ専門委員会，ガスケット専門委員会，管及び管継手専門委員会を配管分科会の下部組織とし，次の規格の改訂，見直しを実施した。

- \* 7S-14-97 [石油工業配管用アーク溶接鋼管] 見直し。
- \* 7S-15-11 [石油工業用フランジ] 見直し。
- \* 7S-16-98 [配管用非金属ガスケットの寸法] 見直し。
- \* 7S-36-07 [鋼製小形弁]，7S-57-07 [軽量形鋼製小形弁 (50A {2B} 以下) (クラス150～800)]，7S-82-07 [鋼製小形高圧弁] 3規格の統合検討・見直し。
- \* 7S-43-08 [石油工業用大口径フランジ] 見直し。
- \* 7S-75-98 [配管用PTFE被覆ガスケット及びPTFEソリッドガスケット] 平成25年8月6日に改訂。
- \* 7S-77-10 [石油工業用プラントの配管基準] 見直し。
- \* 7S-84-96 [石油工業用鋼製ボス，ブランチアウトレット及びプラグ] 見直し。

3) 計装分科会では，次の規格の改訂を実施した。

- \* 7S-54-97 [アーマード形 (鎧装形) ゲージグラス規格] 平成25年8月13日に改訂。
- \* 7R-61-96 [ゲージグラス使用指針] 平成25年8月13日に改訂。
- \* 7R-87-99 [金属管式液面計使用指針] 平成25年8月13日に改訂。

##### (2) 設備維持規格委員会

配管・設備維持規格合同分科会，回転機維持規格分科会，電気維持規格分科会，計装維持規格分科会，屋外タンク維持規格分科会を下部組織とし，次の規格類の改訂及び追補の公開を実施した。

- \* 8R-15-13 [フランジ・ボルト締付管理] 平成25年8月13日に改訂。
- \* 8S-2-09 [設備維持規格] 平成25年12月2日に追補を公開。
- \* 8S-6-10 [屋外貯蔵タンク維持規格] 平成26年3月13日に追補を公開。

#### 1-2-5 設備維持管理士の資格付与

設備維持管理士認定委員会において設備維持規格の内容に関する試験を行い，合格者に設備維持管理士の資格を付与した。また，規格内容に関する一般向け維持規格講習会及び管理士資格者を対象とした更新講習会を開催した。

(1) 平成26年1月8日(水)に東京で，電気設備維持規格講習会，及び電気設備維持管理士更新講習会を実施した。

(2) 平成26年1月9日(木)に東京で，回転機維持規格講習会，及び回転機維持管理士更新講習会を実施

した。

- (3) 平成26年1月10日(金)に東京で、計装設備維持規格講習会、及び計装設備維持管理士更新講習会を実施した。
- (4) 平成26年1月10日(金)に東京で、平成26年1月14日(火)に京都で、配管・設備維持規格講習会を実施した。
- (5) 平成26年2月9日(日)に東京及び大阪で、設備維持管理士認定試験を実施した。その結果、配管・設備維持管理士として24名(受験者数110名)、回転機維持管理士として7名(受験者数30名)、電気設備維持管理士として5名(受験者数13名)、計装設備維持管理士として3名(受験者数17名)をそれぞれ認定した。
- (6) 平成26年2月21日(金)に東京で、平成26年2月24日(月)に京都で、配管・設備維持管理士更新講習会を実施した。
- (7) 設備維持管理士更新講習会は、認定証の有効期限が平成26年3月31日及び平成27年3月31日の認定者が対象で、各講習会終了後ただちに認定証の更新手続きを行った。その結果、配管・設備：188名、回転機：16名、電気設備：8名、計装設備：29名をそれぞれ更新認定した。

## 2. 研究・技術開発の支援

### 2-1 研究発表会、石油・石油化学討論会、論文誌刊行

石油及びその周辺エネルギー分野における研究、技術開発の一層の推進を図るため、研究者や技術者の成果発表や情報交換の場として、研究発表会及び石油・石油化学討論会を開催した。さらにこれらの成果を論文誌として刊行・公開した。

- (1) 平成25年5月29日(水)に東京で第62回研究発表会を開催した。
- (2) 平成25年11月14日(木)～16日(土)に北九州市で北九州大会(第43回石油・石油化学討論会)を開催した。
- (3) 論文誌「Journal of the Japan Petroleum Institute」(隔月刊)を発行し、維持会員(402部)、公共会員(21部)及び普通会員・学生会員の購読希望者(252部)に配布したほか、外部に各号41部を頒布した。また国内に43部、海外に65部を寄贈した(平成26年3月末現在)。平成25年度の掲載内容は次表のとおりである。J-Stage上では本誌オンラインジャーナルを第57巻2号までを公開している(平成26年5月1日現在)。昨年1年間の論文ダウンロード件数は約54,000件(うち海外は約40,000件)となっている。

| 巻 数   | 56巻 |    |     |    | 57巻 |    | 合 計 |
|-------|-----|----|-----|----|-----|----|-----|
| 号 数   | 3   | 4  | 5   | 6  | 1   | 2  | 6   |
| 総合論文  | 2   | 4  | 5   | 2  | 3   | —  | 16  |
| 一般論文  | 4   | 2  | 5   | 3  | 4   | 3  | 21  |
| ノ ー ト | 1   | 1  | 1   | 1  | —   | 1  | 5   |
| 技術報告  | 1   | 1  | 1   | 3  | —   | 1  | 7   |
| レ タ ー | 1   | 1  | —   | —  | —   | —  | 2   |
| 投書    | —   | —  | —   | —  | —   | —  | —   |
| 件数合計  | 9   | 9  | 12  | 9  | 7   | 5  | 51  |
| 全頁数   | 71  | 70 | 103 | 66 | 64  | 29 | 403 |

## 2-2 研究助成

平成26年度の助成金交付は下記のとおり、若手研究者3名に決定した。

- (1) 「ポストメタロセン触媒を用いるスチレンの高効率・高選択的重合反応の開発」  
(助成額 100万円) 埼玉大学 助教 中田 憲男 氏
- (2) 「燃料電池燃料極に高活性なRu殻バイメタルナノ粒子触媒」  
(助成額 60万円) 名古屋大学 助教 大山 順也 氏
- (3) 「MFI型, MTW型フェリシリケートを用いた2,6-, 2,7-ジメチルナフタレン選択合成」  
(助成額 60万円) 宇都宮大学 准教授 佐藤 剛史 氏

## 2-3 表彰

石油学会表彰規程, 野口記念賞表彰規程, 並びに国際表彰規程により, 学会賞3件, 論文賞2件, 技術進歩賞1件, 奨励賞4件, 野口記念奨励賞1件, 国際交流功績賞1件の授賞を決定した。

## 2-4 国際交流

韓国工業化学会との技術交流として, 国際委員会にて選任された3名が本会を代表して先方の秋季大会に参加, 発表するとともに, 今後の交流について意見交換した。

## 【収益事業】

### 1. 受託事業

- (1) 製品部会ガソリン分科会において, (株)石油産業技術研究所から「新しいオクタン価要求値調査方法の検討とオクタン価が既販車に及ぼす影響調査」について受託し, 調査・試験を実施した。
- (2) 製品部会燃料油分科会において, (株)石油産業技術研究所から「ディーゼル車の燃料供給システム調査」について受託し, 調査・試験を実施した。

## 2. 図書及び標準試料認定・販売事業

### 2-1 図書販売

- (1) 石油及び周辺エネルギー分野の啓発及び技術の発展を目的に販売している以下の図書について, 出版社より販売部数に応じて販売手数料を得た。  
「新版 石油精製プロセス」, 「石油化学プロセス」, 「石油辞典」, 「石油がわかれば世界が読める」
- (2) 「石油精製プロセス」(1998年刊行)の改訂版として, 平成26年3月1日に「新版 石油精製プロセス」を発行した。

### 2-2 標準試料認定・販売

平成25年度の認定数(販売数)は次のとおりである。硫黄分(1,901), 窒素分(244), ニッケル・バナジウム分(34), FIA用(19), 軽油硫黄分(682), 標準ガソリン(78), 引火点(1,203), 総計は4,161であった。

## 【共益事業】

### 1. 溶接士の認定事業

平成20年6月から(一社)日本溶接協会にJPI規格4種の免許証発行業務を移管している。平成25年度の認定者数は763名で, 現在までの累計認定者数は138,278名である。

### 2. 会員交流事業



- (1) 製品部会潤滑油分科会では、JPI-5S-15-05 [陸用ディーゼルエンジンピストン評価法] を関連の業界技術者に普及するため、平成25年11月28日(木)及び29日(金)に第40回レイティングシンポジウムを開催した。
- (2) 講演会等の開催に併せて参加者の交流を目的に懇親会を開催した。

### 3. 会員向けサービス

平成25年8月からは毎月1回、普通会员及び維持会員あてに本会のトピックス、行事案内、募集などを記載したメールマガジンを発信している。

## 【法人管理】

### 1. 庶務事項

- (1) 役員の登記手続き  
平成25年5月28日就任の新役員の登記手続きは6月に終了した。

### 2. 法人運営

- (1) 法人管理・運営にあたり、以下の会議を開催した。  
理事会（4回）、運営会議（5回）、顧問会（1回）、事業推進会議（1回）、役員等候補者選定委員会（2回）、財務委員会（1回）、職員人事委員会（3回）、部会連絡会（2回）
- (2) 次の規程の改定を行った。
  - \* 講演者、司会者及び座談会参加者等の講演料、旅費、謝礼規程
  - \* 国際交流賞表彰規程
  - \* 職員就業規程
  - \* 職員給与規程
- (3) 会員増強活動として、次の取組みを行った。
  - 1) 企業の新入社員を対象としたキャンペーン（初年度会費半額）を実施した。
  - 2) 研究室グループ学生会員の卒業予定者に対して入会勧誘書とペトロテックを送付した。
  - 3) 役員を中心に維持会員の勧誘を行った。
- (4) 事業活性化委員会  
石油学会の存在意義と魅力を高めるため、どのような活動を行うのが相応しいか、そのためにどのような組織改革・運営改革が必要かを検討するため、事業活性化委員会を組織し、平成26年1月に第1回委員会を開催した。平成26年度末まで活動を継続し、結果を運営会議及び理事会に報告する。
- (5) 他学協会、その他の団体から事業の共催、協賛などの依頼を受けて積極的に協力した。

## 【会員数の状況】

平成25年度末（平成26年3月31日）と前年度末の会員数の比較は次表のとおりである。

| 項目<br>会員別 | 平成 2 5 年<br>3 月 3 1 日現在 | 平成 2 5 年度会員数の増減 |       |         | 平成 2 6 年<br>3 月 3 1 日現在 |
|-----------|-------------------------|-----------------|-------|---------|-------------------------|
|           |                         | 増               | 減     | 増または減   |                         |
| 名誉会員      | 3 2                     | 3               | 0     | 3       | 3 5                     |
| 普通会员      | 2 9 6 5                 | 7 4             | 1 7 4 | △ 1 0 0 | 2 8 6 5                 |
| 学生会員      | 1 8 9                   | 7 3             | 6 4   | 9       | 1 9 8                   |
| 小 計       | 3 1 8 6                 | 1 5 0           | 2 3 8 | △ 8 8   | 3 0 9 8                 |
| 維持会員      |                         |                 |       |         |                         |
| 1 級       | 1 7                     | 0               | 0     | 0       | 1 7                     |
| 2 級       | 8                       | 1               | 0     | 1       | 9                       |
| 3 級       | 3 4                     | 0               | 2     | △ 2     | 3 2                     |
| 4 級       | 2 2                     | 0               | 1     | △ 1     | 2 1                     |
| 5 級       | 1 7 6                   | 1 0             | 8     | 2       | 1 7 8                   |
| 小 計       | 2 5 7                   | 1 1             | 1 1   | 0       | 2 5 7                   |
| 公共会員      | 2 1                     | 0               | 0     | 0       | 2 1                     |
| 総 合 計     | 3 4 6 4                 | 1 6 1           | 2 4 9 | △ 8 8   | 3 3 7 6                 |

## 【委員会・部会の会合数】

平成25年度の会合数は次表のとおりである。

| 会 合 名             | 数  | 会 合 名            | 数   |
|-------------------|----|------------------|-----|
| 通常総会              | 1  | 資源部会             | 2   |
| 事業推進会議            | 1  | 精製部会             | 27  |
| 理事会               | 4  | 石油化学部会           | 3   |
| 顧問会               | 1  | 製品部会             | 3   |
| 運営会議              | 5  | ガソリン分科会          | 22  |
| 財務委員会             | 1  | 燃料油分科会           | 18  |
| 役員等候補者選定委員会       | 2  | 潤滑油分科会           | 8   |
| 研究助成委員会           | 1  | アスファルト分科会        | 4   |
| 職員人事委員会           | 3  | 絶縁油分科会           | 22  |
| 支部長会議             | 1  | 試験分析分科会          | 17  |
| 広報委員会             | 2  | 装置部会             | 3   |
| 会員拡大委員会           | 1  | 設備維持規格委員会（分科会含む） | 40  |
| 石油精製プロセス編集委員会     | 1  | 装置委員会            | 3   |
| ペトロテック編集委員会       | 11 | 機器分科会            | 4   |
| Working Group 委員会 | 55 | 回転機分科会           | 6   |
| 論文誌編集委員会（WG含む）    | 7  | 配管分科会            | 12  |
| 研究・技術企画委員会        | 3  | 設備保全分科会          | 8   |
| 国際委員会             | 3  | 計装分科会            | 12  |
| 海外協力分科会           | 4  | 電気分科会            | 6   |
| 表彰委員会             | 2  | 保安分科会            | 3   |
| 表彰推薦委員会           | 1  | 経営情報部会（WG含む）     | 18  |
| 表彰選考委員会（WG含む）     | 8  | 新エネルギー部会         | 4   |
| 教育委員会             | 3  | 次世代バイオ燃料分科会      | 6   |
| 事業活性化委員会          | 1  | 溶接士検定委員会         | 1   |
| 部会連絡会             | 2  | 標準試料委員会          | 6   |
|                   |    | 設備維持管理士認定委員会     | 33  |
|                   |    | 合 計              | 415 |

## 【講演会，討論会，研究発表会並びに見学会等の実施】

| 月     | 日        | 曜      | 名 称                                                          | 開催地       | 講演数             | 参加者数      |
|-------|----------|--------|--------------------------------------------------------------|-----------|-----------------|-----------|
| 平成25年 |          |        |                                                              |           |                 |           |
| 5     | 28       | 火      | 第54回通常総会，第56回年会－受賞，企画，特別講演                                   | 東京        | 11              | 217       |
|       | 29       | 水      | 受賞講演，第62回研究発表会，<br>第18回JPIJSポスターセッション                        |           | 50<br>40        |           |
| 6     | 7        | 金      | 第33回絶縁油分科会研究発表会                                              | 京都        | 12              | 140       |
| 7     | 3        | 水      | 資源講演会「ピークオイル（説）を超えて」                                         | 東京        | 8               | 87        |
| 10    | 11       | 金      | 第13回 回転機研究討論会                                                | 東京        | 7               | 236       |
| 10    | 18       | 金      | 第3回絶縁油分科会後継者育成講習会                                            | 京都        | 3               | 67        |
| 10    | 24       | 木      | 平成25年度精製講演会「変貌するエネルギーと石油産業<br>における技術的対応」                     | 東京        | 7               | 122       |
| 11    | 14<br>15 | 木<br>金 | 北九州大会－特別講演，依頼講演，<br>第43回石油・石油化学討論会，<br>研究発表ポスターセッション<br>－見学会 | 北九州       | 13<br>158<br>35 | 396       |
|       | 16       | 土      |                                                              |           |                 | 15        |
| 11    | 26       | 火      | 第21回触媒シンポジウム「シェールガス革命による石油<br>化学産業の最新動向」                     | 東京        | 4               | 64        |
| 12    | 2<br>3   | 月<br>火 | 第23回日本－サウジアラビア合同セミナー                                         | ダハラン      | 6               | 130       |
| 12    | 6        | 金      | 2013石油製品討論会「石油を取り巻く最新動向と製品技<br>術・分析評価技術の進展」                  | 東京        | 15              | 132       |
| 12    | 9<br>10  | 月<br>火 | 第44回装置研究討論会<br>「設備の信頼性向上と高経年化対応」                             | 東京        | 10              | 126       |
| 平成26年 |          |        |                                                              |           |                 |           |
| 1     | 8        | 水      | 設備維持規格講習会（電気設備）                                              | 東京        | —               | 5         |
| 1     | 8        | 水      | 設備維持管理士更新講習会（電気設備）                                           | 東京        | —               | 8         |
| 1     | 9        | 木      | 設備維持規格講習会（回転機）                                               | 東京        | —               | 17        |
| 1     | 9        | 木      | 設備維持管理士更新講習会（回転機）                                            | 東京        | —               | 16        |
| 1     | 10       | 金      | 設備維持規格講習会（計装設備）                                              | 東京        | —               | 11        |
| 1     | 10       | 金      | 設備維持管理士更新講習会（計装設備）                                           | 東京        | —               | 29        |
| 1     | 10       | 金      | 設備維持規格講習会（配管・設備）                                             | 東京        |                 | 38        |
| 1     | 14       | 火      | 設備維持規格講習会（配管・設備）                                             | 京都        |                 | 23        |
| 1     | 20<br>21 | 月<br>火 | 第15回日本－クウェート合同セミナー                                           | クウェ<br>ート | 5               | 70        |
| 2     | 9        | 日      | 2013年度設備維持管理士認定試験<br>（配管・設備，回転機，電気設備，計装設備）                   | 東京<br>大阪  | —               | 145<br>64 |
| 2     | 21       | 金      | 第39回精製パネル討論会                                                 | 東京        | 3               | 166       |
| 2     | 21       | 金      | 設備維持管理士更新講習会（配管・設備）                                          | 東京        | —               | 108       |
| 2     | 24       | 月      | 設備維持管理士更新講習会（配管・設備）                                          | 京都        | —               | 80        |
| 3     | 6        | 木      | 第14回電気研究討論会「事業継続計画（BCP）と災害対策<br>～電気技術者のBCPとは～」               | 東京        | 7               | 72        |
| 3     | 10       | 月      | 第30回計装研究討論会「プラントアセットマネジメント<br>の現状と課題～これからの技術とツール～」           | 東京        | 6               | 106       |

以上